

筑波技術研究所の新整備計画を始動 —環境技術実証棟を着工—

戸田建設(株) (社長：今井雅則) は、筑波技術研究所 (茨城県つくば市) の新整備計画を始動しました。今回の整備計画は、建築物の省エネルギー化や利用者の生産性向上、巨大地震への備えなどが求められている中で、新たな価値を提供することを目指して施設を増強するものです。

第1弾として、本社ビル建替計画 (京橋一丁目東地区) への適用および ZEB の実現に向けた技術を検証する「環境技術実証棟」の建設に着手しました。完成は2017年3月予定です。



環境技術実証棟 完成予想パース

1. 新整備計画の紹介

主に整備する施設は以下の通りになります。

① 環境技術実証棟の建設

京橋一丁目東地区の計画において都市再生特別地区の都市計画決定がなされました。この計画において、利用者の快適性と利便性に配慮しつつ、自然エネルギーの活用等により環境負荷を低減した所定の環境性能を確保した建物が求められています。

今回の実証棟では、これらの環境性能を確保するため、外装形状、温熱環境の制御等、環境負荷低減及び利用者の生産性向上に関する検証を行います。そして、その成果を活かしつつ、ZEB (Zero Energy Building) の実現に向けた技術の検証を引き続き行ってまいります。

・ 環境技術実証棟概要

構 造：鉄筋コンクリート造

階 数：地上2階

建築面積：379.61 m²

延床面積：724.72 m²

工 期：2016年5月～2017年3月

以下のものは来年度以降の建設となります。

② 大型実験棟の拡張

大型実験棟は、建設物の強度および変形性能を調べるために、大規模な加力実験を行う施設です。巨大地震への備えや構造材料の高強度化ニーズの高まりに合わせ、実験機器の載荷能力を増強します。さらに、開発効率の向上のため、実験棟を広くします。

③ 施工実験棟の建設

天候に左右されずに実大の試験体で施工性検証実験を行うことができる多目的実験施設を新築します。施設内には土槽や天井走行クレーンを備えており、土木・建築の施工実験や大空間を利用した設備関連の実験などを行うことができます。

④ 当社開発技術の体感紹介スペースの設置

お客様に技術を直接体感していただき、その価値を分かりやすく理解していただくための技術体感紹介スペースを新たに設置します。

2. 環境技術実証棟の着工

2016年5月24日に環境技術実証棟の地鎮祭を行いました。



鍬入れする今井社長

3. 今後の展開

今後これらの施設を有効に活用し、最新のニーズに合った技術開発をすすめ、より安全・安心・快適で環境に配慮した建物など、お客様に新たな価値を提供する技術開発に取り組んでまいります。